



○学校教育目標：地域を愛し、地域からも愛される児童の育成

○めざす学校の姿：美しい学校（美しい環境＆美しい心と姿の育成）

○めざす子どもの姿：いつも笑顔で 元気！（自ら学ぶ子 心豊かな子 がんばる子）



11日の新聞の広告にあった文章です。俳優の山田孝之さんふんする鬼が「おい人。心の豊かさってなんだ？」と問うテレビコマーシャルに関連するものです。印象的だったので紹介します。

心の豊かさって、なんだ？

ありったけの笑顔で、人と話してみた。
ひとつのものを、人と分け合ってみた。
ささいな感謝を、人に伝えてみた。
そのたびに、胸の奥が少しあたたかくなつた。
これが、心の豊かさというやつなのだろうか。

それはいつの間にか、
誰かへではなく、自分への問い合わせになっていた。
「俺にとっての
心の豊かさって、なんだ？」

＜岩国ずし作り。～4年生が教えていただきました。～＞

12日（水）に4年生が「岩国ずし」作りを教えていただきました。講師はにみかんの学習でもお世話になっている地域の方の他、5名の方々でした。保護者の方10名も子どもたちの支援や指導に来てくださいました。朝登校してすぐに「今日の岩国ずし作り楽しみ！」と話してくれる児童もいました。はじめに講師の先生が「岩国ずしを作つて食べて、おいしかった、きれいだったで終わるのではなくて、先人のおもてなしの心や、自分の家のすしは、おいしいといつてもらうように作つていた、そついたプライドもあつたことを感じてほしい。」と挨拶してくださいました。5班に分かれてにんじんやかまぼこを切つたり、卵を焼いたりしながら調理をしました。ふるさとの伝統食を協働で作る活動を通して、先人の心と味を感じることができました。ご協力いただいた地域の皆様には、道具や材料の準備や児童へのご指導ありがとうございました。保護者の皆様も朝早くから児童のご支援をありがとうございました。



【岩国ずし作りの様子】